

(第34回)

「人気スポーツ」調査

(調査結果の概要)

世論調査・市場調査の専門機関の一般社団法人 中央調査社（会長 境 克彦）は、5月8日から18日にかけて、「人気スポーツ」に関する全国意識調査を実施しました。

調査は、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行いました（回答者数1,201人）。調査結果の概要は以下の通りで、1993年以来毎年同様の調査を行っています。

(主な調査結果)

●日本代表に高い期待。過半数がベスト8以上を予想。

サッカーワールドカップに「関心あり」は42.3%、「試合を見る」は44.1%。大会への関心は前回大会と同水準。一方、日本代表の活躍については、全体の70.8%が決勝トーナメント進出を予想し、ベスト8以上との回答も53.0%に達した。

●大谷翔平、人気も異次元。5年連続1位、4年連続で5割超。

「最も好きなスポーツ選手」は大谷翔平が5年連続トップ。全回答者に占める回答比率は4年連続で5割を超え、性別・年代を問わず圧倒的な支持を集めた。

●冬の記憶をさらったフィギュア。りくりゅうペアが好きな選手ランキングでも上位へ。

ミラノ・コルティナ冬季五輪で最も印象に残った競技は「フィギュアスケート」が47.7%で1位。今後も注目したい競技でも43.4%でトップとなり、好きなスポーツ選手では三浦璃来&木原龍一ペアが2位に入った。

●WBCは半数近くが試合結果やハイライトを視聴。ネット配信での観戦も2割超。

WBCの視聴は「ニュースなどで試合結果やハイライトを見聞きした」が最多の47.2%。「ネット配信（Netflix）で観戦」は23.6%だった。3割近くは「ほとんど何も見聞きしていない」と回答。視聴方法の制約もあり、WBCへの接触は前回大会と比べ低下した。

(調査内容)

1. 最も好きなスポーツ選手 — 大谷翔平、三浦璃来&木原龍一ペア、イチローの順 —
2. 好きなプロスポーツ — 野球が1位、サッカーが2位、相撲が3位 —
3. 好きな現役力士 — 大の里が1位、安青錦が2位、高安が3位 —
4. 一番好きなプロ野球チーム — 巨人、阪神に次いで、中日が3位 —
5. 一番好きなJ1のサッカーチーム — 鹿島アントラーズが昨年に続き1位 —
6. サッカーワールドカップ — 「関心あり」「試合を見る」ともに4割強 —
7. 冬季五輪 — 最も印象に残っている競技「フィギュアスケート」5割近く —
8. WBCの視聴 — 「ネット配信（Netflix）で観戦」が23.6% —

1. 最も好きなスポーツ選手

- ・野球の「大谷翔平」が5年連続で1位を獲得。WBCでの活躍、今シーズンは2刀流での活躍も話題だ。全回答者に占める回答比率は4年連続で50%を超えている。性別や年代問わず2位以下に大差をつけた。
- ・冬季オリンピックでの活躍が記憶に新しい「三浦璃来&木原龍一ペア」が2位。特に女性の支持が高い。フィギュアスケートからは「浅田真央」「坂本花織」もランクイン。
- ・野球では、「イチロー」「長嶋茂雄」の人气が根強く、3位と4位で今年もランクイン。阪神タイガースの「佐藤輝明」が初めて7位にランクイン。
- ・サッカー界からは、4位に「三笥薫」がランクイン。
- ・バレーボールの「石川祐希」が6位。女性での人气が高い。
- ・大相撲の「大の里」が9位で、昨年に続いてランクイン。
- ・同じく9位に、今年5月1日に自身のSNSで今季限りでの引退を発表したテニスの「錦織圭」。

質問：「プロ・アマ、現役・引退、国内・国外を問わず、あなたが好きなスポーツ選手を1人だけ、何の選手かもあわせてあげてください。」（自由回答）

▼最も好きなスポーツ選手（上位10位）

			今回(2026年) (n=853)		(2025年) (n=867)		(2024年) (n=897)		(2023年) (n=915)		(2022年) (n=847)	
1位	大谷翔平	野球	442	51.8%	①	51.1%	①	57.4%	①	58.9%	①	36.6%
2位	三浦璃来&木原龍一ペア*	フィギュアスケート	18	2.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
3位	イチロー	野球	16	1.9%	⑤	2.1%	②	2.1%	③	2.4%	②	6.8%
4位	長嶋茂雄	野球	15	1.8%	②	6.2%	③	2.0%	⑨	0.8%	⑥	2.4%
〃	三笥薫	サッカー	15	1.8%	⑥	1.8%	⑩	0.7%	⑥	1.3%	—	—
6位	石川祐希	バレーボール	12	1.4%	④	2.3%	⑳	0.4%	—	—	—	—
7位	佐藤輝明	野球	11	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	浅田真央	フィギュアスケート	11	1.3%	⑫	0.6%	⑦	0.8%	⑭	0.5%	⑧	1.4%
9位	大の里	相撲	10	1.2%	③	3.6%	—	—	—	—	—	—
〃	錦織圭	テニス	10	1.2%	⑮	0.5%	⑦	0.8%	⑧	1.0%	⑩	1.3%
〃	坂本花織	フィギュアスケート	10	1.2%	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) —は上位21位以下、○数字は順位。

*「三浦璃来&木原龍一ペア」は、「三浦璃来」または「木原龍一」個人名の回答を含む。
(この質問は最も好きな選手1人を尋ねる質問であるが、このたびはペアとしての回答が多かったため、特別に「三浦璃来&木原龍一ペア」として集計した。)

▼男女別順位（上位10位）

男性(n=428)				女性(n=425)			
1位	大谷翔平	219人	51.2%	1位	大谷翔平	223人	52.5%
2位	イチロー	13人	3.0%	2位	三浦・木原ペア	16人	3.8%
3位	三笥薫	12人	2.8%	3位	浅田真央	11人	2.6%
4位	長嶋茂雄	9人	2.1%	4位	坂本花織	10人	2.4%
5位	佐藤輝明	8人	1.9%	〃	石川祐希	10人	2.4%
〃	井上尚弥	8人	1.9%	6位	高橋藍	9人	2.1%
7位	三浦知良	7人	1.6%	7位	錦織圭	7人	1.6%
8位	大の里	5人	1.2%	8位	安青錦	6人	1.4%
9位	長友佑都	4人	0.9%	〃	長嶋茂雄	6人	1.4%
〃	アイルトン・セナ	4人	0.9%	10位	近本光司	5人	1.2%
〃	村上宗隆	4人	0.9%	〃	大の里	5人	1.2%
〃	松山英樹	4人	0.9%	〃	羽生結弦	5人	1.2%

▼年代別順位（上位3位）

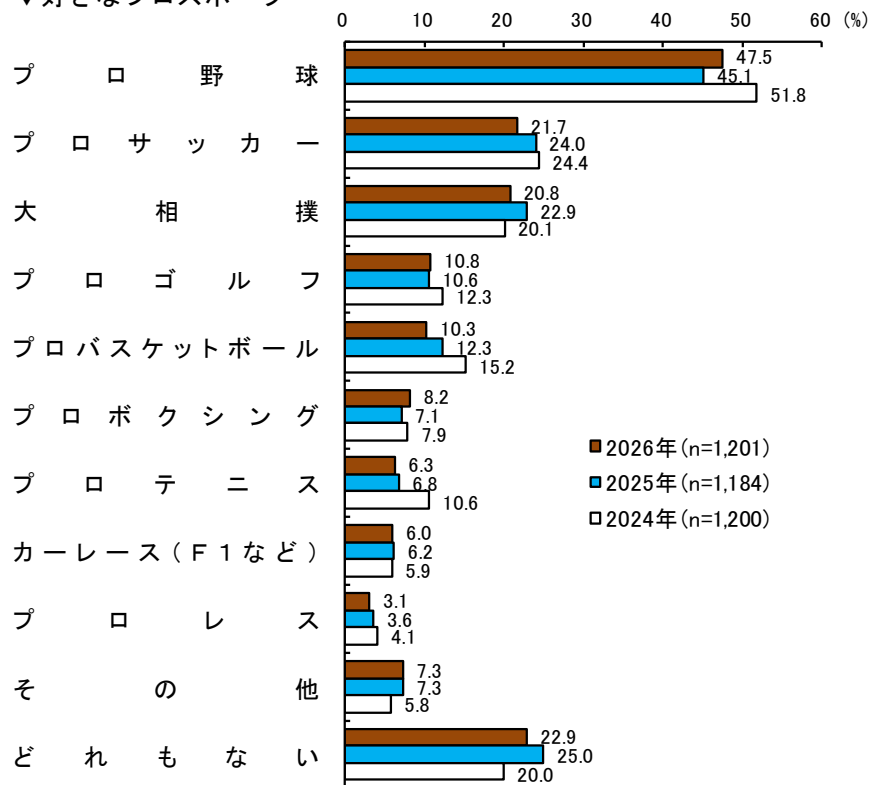
20代(n=68)				50代(n=136)			
1位	大谷翔平	26人	38.2%	1位	大谷翔平	61人	44.9%
2位	井上尚弥	3人	4.4%	2位	三浦・木原ペア	6人	4.4%
〃	三浦・木原ペア	3人	4.4%	3位	三浦知良	5人	3.7%
30代(n=87)				60代(n=158)			
1位	大谷翔平	44人	50.6%	1位	大谷翔平	88人	55.7%
2位	三笥薫	4人	4.6%	2位	石川祐希	4人	2.5%
3位	佐藤輝明	3人	3.4%	3位	浅田真央	3人	1.9%
40代(n=113)				〃			
1位	大谷翔平	54人	47.8%	〃	長嶋茂雄	3人	1.9%
2位	三笥薫	6人	5.3%	〃	イチロー	3人	1.9%
3位	三浦・木原ペア	5人	4.4%	〃	高橋藍	3人	1.9%
〃	イチロー	5人	4.4%	70歳以上(n=291)			
				1位	大谷翔平	169人	58.1%
				2位	長嶋茂雄	12人	4.1%
				3位	大の里	9人	3.1%

2. 好きなプロスポーツ

- ・「プロ野球」の1位が1996年から続いている。「プロサッカー」が5年連続2位、「大相撲」も同じく5年連続の3位。「プロゴルフ」は3年ぶりに「プロバスケットボール」をかわして4位。

質問：「あなたが好きなプロスポーツを、この中（回答票＝(ア) 大相撲、(イ) プロ野球、(ウ) プロサッカー、(エ) プロバスケットボール、(オ) プロゴルフ、(カ) プロテニス、(キ) プロレス、(ク) プロボクシング、(ケ) カーレース（F1など））からいくつでもあげてください。」（複数回答）

▼好きなプロスポーツ



3. 好きな現役力士

- ・横綱「大の里」が昨年に続き1位となるも、9ポイント減少。
- ・昨年十両から大関まで昇進した「安青錦」が初めてのランクインで2位。

質問：「あなたが好きな現役の力士を3人まであげてください。」（自由回答、複数回答）

▼好きな現役力士(上位10位)

今回(2026年) (n=1,201)		2025年 (n=1,184)	2024年 (n=1,200)	2023年 (n=1,187)	2022年 (n=1,204)
1位	大の里 22.1%	① 31.5%	— —%	— —%	— —%
2位	安青錦 11.9%	— —%	— —%	— —%	— —%
3位	高安 7.7%	② 9.7%	⑦ 4.6%	③ 5.6%	⑤ 7.1%
4位	霧島 5.8%	⑭ 1.7%	⑫ 3.2%	— —%	— —%
5位	宇良 4.6%	⑤ 5.2%	⑤ 5.4%	⑧ 3.3%	⑦ 5.0%
6位	豊昇龍 4.4%	⑧ 3.1%	⑮ 1.3%	— —%	⑮ 0.5%
7位	琴櫻 3.6%	④ 5.3%	— —%	— —%	— —%
8位	若隆景 3.5%	③ 6.0%	⑭ 1.8%	④ 5.2%	② 9.3%
〃	熱海富士 3.5%	— —%	⑬ 3.0%	— —%	— —%
10位	若元春 2.9%	⑨ 2.9%	⑨ 3.3%	⑪ 2.9%	— —%
1人も浮かばない 59.1%		57.7%	63.3%	65.4%	62.1%

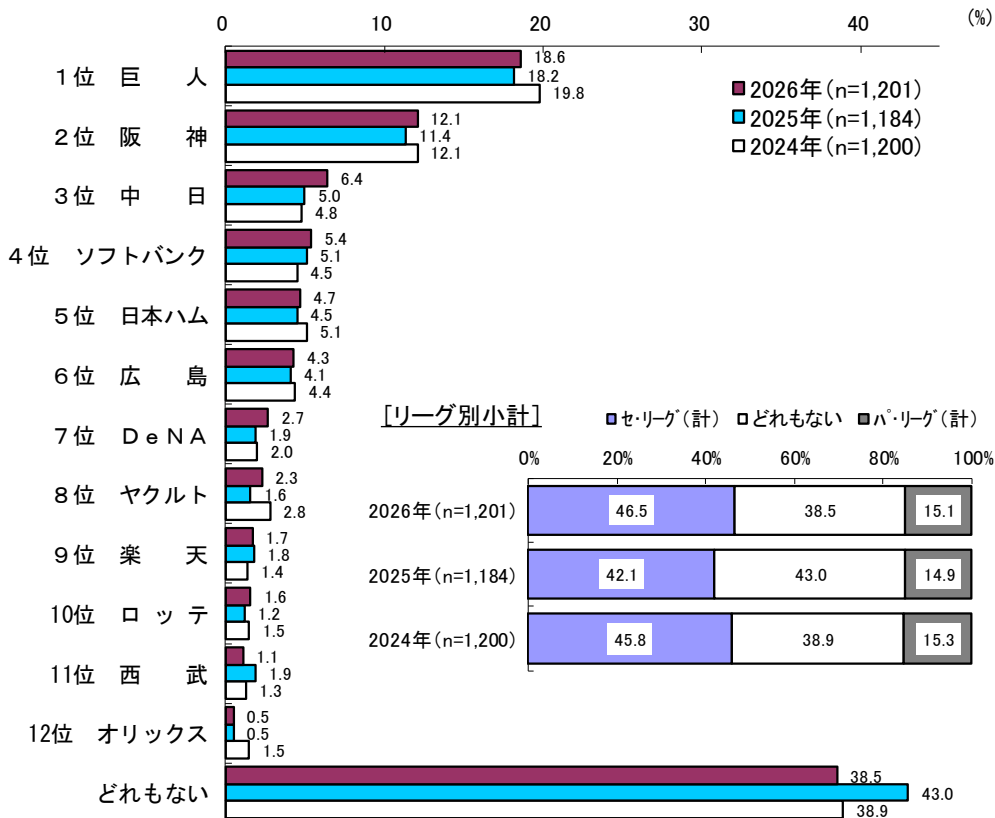
(注) —は16位以下、○数字は順位。

4. 一番好きなプロ野球チーム

- ・1993年の調査開始以来1位「巨人」、2位「阪神」は不動。
- ・「中日」が3位、「ソフトバンク」が4位、「日本ハム」が5位、「広島」が6位となった。
- ・地区別では、“北海道”の「日本ハム」、「東海」の「中日」、「近畿・阪神」の「阪神」、「中国」の「広島」、「九州」の「ソフトバンク」が、例年どおり、各々の地元において1位となっている。

質問：「日本のプロ野球チームの中で、あなたが一番好きなチームはどこですか。」（自由回答）

▼一番好きなプロ野球チーム



▼地区別・好きなチーム ベスト3

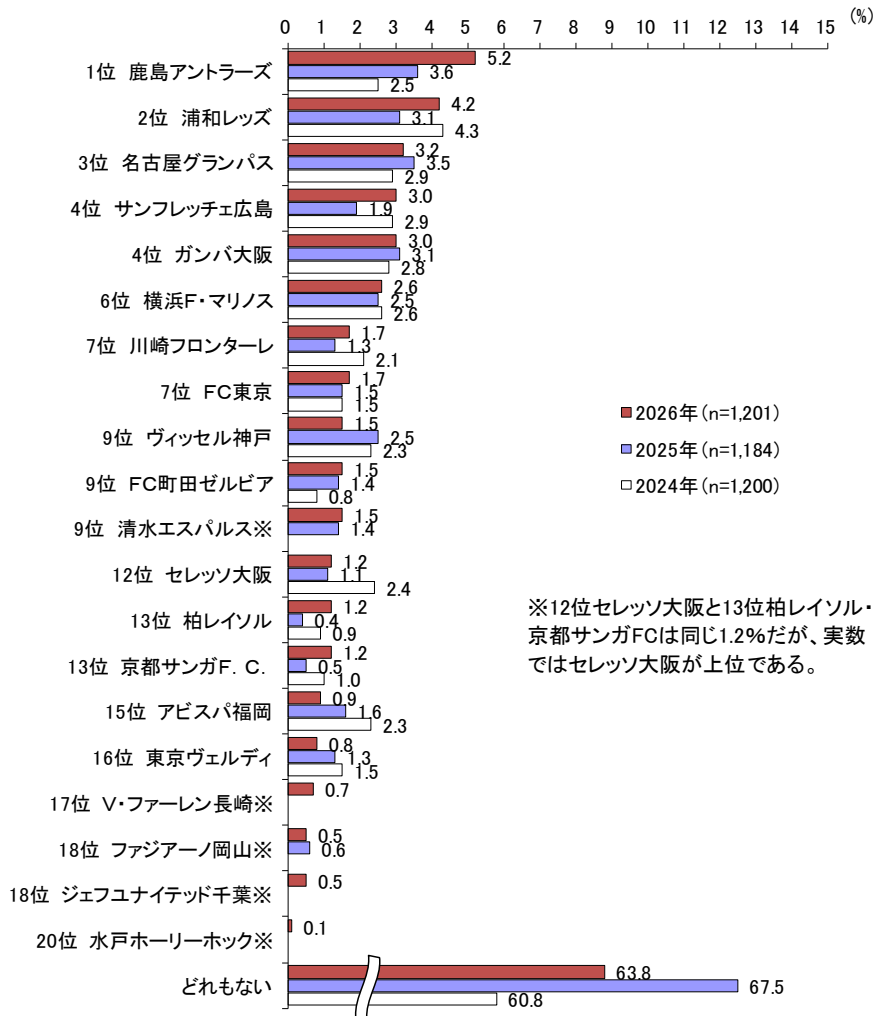
<p>●北海道 (n=54)</p> <p>1位 日本ハム 63.0%</p> <p>2位 巨人 7.4%</p> <p>3位 阪神 3.7%</p>	<p>●東北 (n=82)</p> <p>1位 巨人 24.4%</p> <p>2位 楽天 22.0%</p> <p>3位 DeNA 7.3%</p>	<p>●関東・京浜 (n=399)</p> <p>1位 巨人 26.3%</p> <p>2位 阪神 4.8%</p> <p>〃 DeNA 4.8%</p> <p>〃 ヤクルト 4.8%</p>	<p>●北陸・甲信越 (n=83)</p> <p>1位 巨人 22.9%</p> <p>2位 阪神 7.2%</p> <p>〃 日本ハム 7.2%</p>
<p>●東海 (n=155)</p> <p>1位 中日 40.0%</p> <p>2位 巨人 13.5%</p> <p>3位 阪神 2.6%</p> <p>〃 日本ハム 2.6%</p> <p>〃 ヤクルト 2.6%</p>	<p>●近畿・阪神 (n=180)</p> <p>1位 阪神 50.0%</p> <p>2位 巨人 10.0%</p> <p>3位 オリックス 2.8%</p>	<p>●中国 (n=81)</p> <p>1位 広島 46.9%</p> <p>2位 巨人 13.6%</p> <p>3位 阪神 8.6%</p>	<p>●四国 (n=35)</p> <p>1位 巨人 22.9%</p> <p>2位 阪神 20.0%</p> <p>3位 広島 5.7%</p>
<p>●九州 (n=132)</p> <p>1位 ソフトバンク 42.4%</p> <p>2位 巨人 12.9%</p> <p>3位 阪神 6.8%</p>			

5. 一番好きなJ1のサッカーチーム

- ・「鹿島アントラーズ」が昨年に続き1位。「浦和レッズ」（昨年3位）が2位。「名古屋グランパス」（昨年2位）が3位となった。
- ・地区別では、それぞれの地区を拠点とするチームが人気上位となった。東海の「名古屋グランパス」、中国の「サンフレッチェ広島」は特に地元人気が高い。

質問：（回答票）「日本のプロサッカーリーグ（Jリーグ）のうち、現在のJ1で、あなたが一番好きなチームはどこですか。」

▼一番好きなJ1のサッカーチーム



※J2リーグに所属：清水エスパルス(2024年)、V・ファーレン長崎(2024・2025年)、ファジアーノ岡山(2024年)、ジェフユナイテッド千葉(2024・2025年)、水戸ホーリーホック(2024・2025年)

▼地区別・好きなチーム ベスト3

●北海道 (n=54)

1位	浦和レッズ	5.6%
2位	鹿島アントラーズ	3.7%
3位	横浜F・マリノス	1.9%
〃	川崎フロンターレ	1.9%
〃	FC東京	1.9%
〃	FC町田ゼルビア	1.9%
〃	清水エスパルス	1.9%
〃	セレッソ大阪	1.9%
〃	柏レイソル	1.9%
〃	東京ヴェルディ	1.9%
〃	ジェフユナイテッド千葉	1.9%

●東北 (n=82)

1位	鹿島アントラーズ	9.8%
2位	横浜F・マリノス	2.4%
〃	柏レイソル	2.4%

●関東・京浜 (n=399)

1位	鹿島アントラーズ	9.3%
2位	浦和レッズ	8.0%
3位	横浜F・マリノス	5.3%

●北陸・甲信越 (n=83)

1位	浦和レッズ	4.8%
〃	ガンバ大阪	4.8%
3位	横浜F・マリノス	3.6%

●東海 (n=155)

1位	名古屋グランパス	21.9%
2位	清水エスパルス	8.4%
3位	ガンバ大阪	1.9%
〃	川崎フロンターレ	1.9%

●近畿・阪神 (n=180)

1位	ガンバ大阪	12.2%
2位	ヴィッセル神戸	6.1%
〃	セレッソ大阪	6.1%

●中国四国 (n=116)

1位	サンフレッチェ広島	29.3%
2位	鹿島アントラーズ	5.2%
〃	ファジアーノ岡山	5.2%

●九州 (n=132)

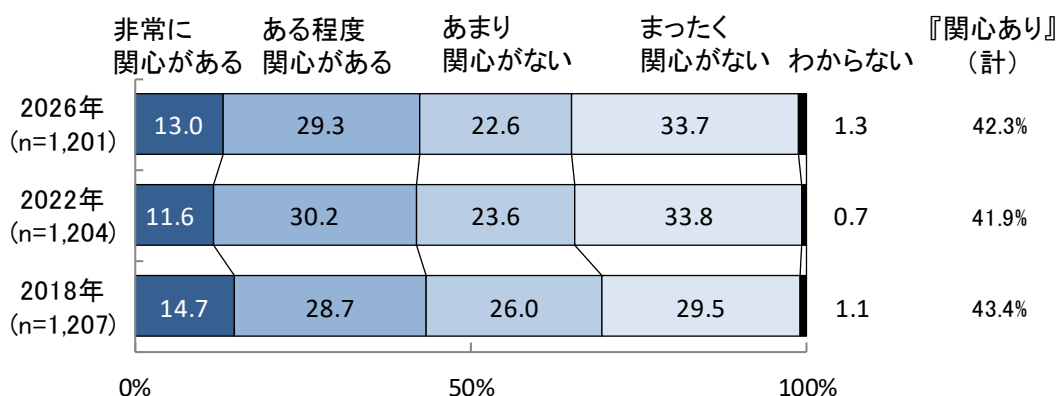
1位	アビスパ福岡	8.3%
2位	V・ファーレン長崎	5.3%
3位	浦和レッズ	3.0%
〃	ガンバ大阪	3.0%

6. サッカーワールドカップ

- ・サッカーワールドカップ北中米大会に『関心あり』と回答したのは42.3%。過去2大会と比較してほとんど変化はない。
- ・『試合を見る』と回答したのは44.1%。うち、「テレビ放送で見る」は38.6%、「ネット配信（DAZNやNHK ONE）で見る」は12.8%。
- ・日本代表の活躍については、決勝トーナメント進出を予想した人の割合が全体（「わからない」を含む）の70.8%、ベスト8以上の回答が5割を超えた（53.0%）。

質問：（回答票）今年の6月から7月にかけて、サッカーのワールドカップがアメリカ・カナダ・メキシコの3か国で共同開催されますが、あなたはどのくらい関心がありますか。

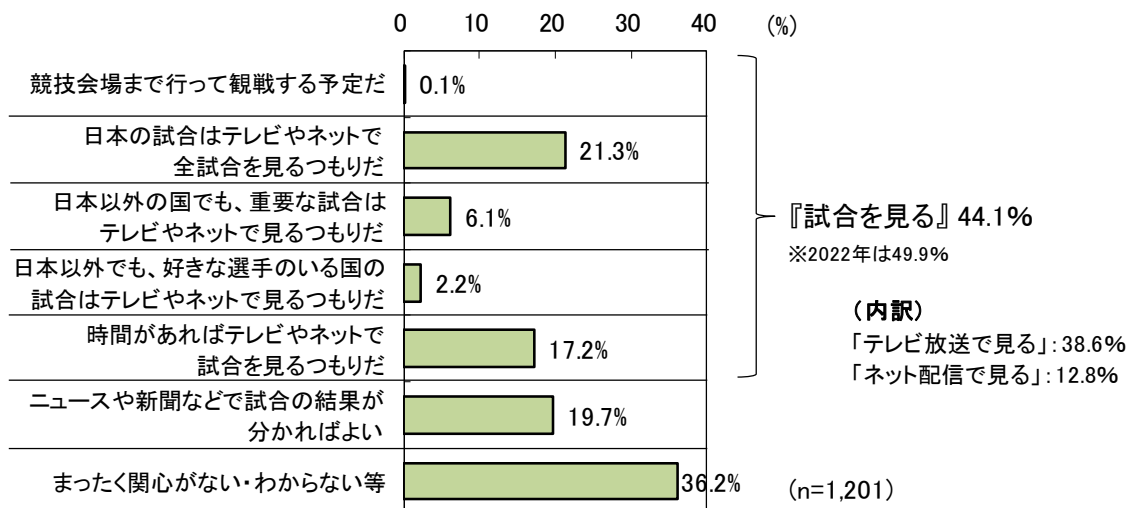
▼ワールドカップへの関心



質問：（回答票）では、試合をどのようにして見ますか。（複数回答）

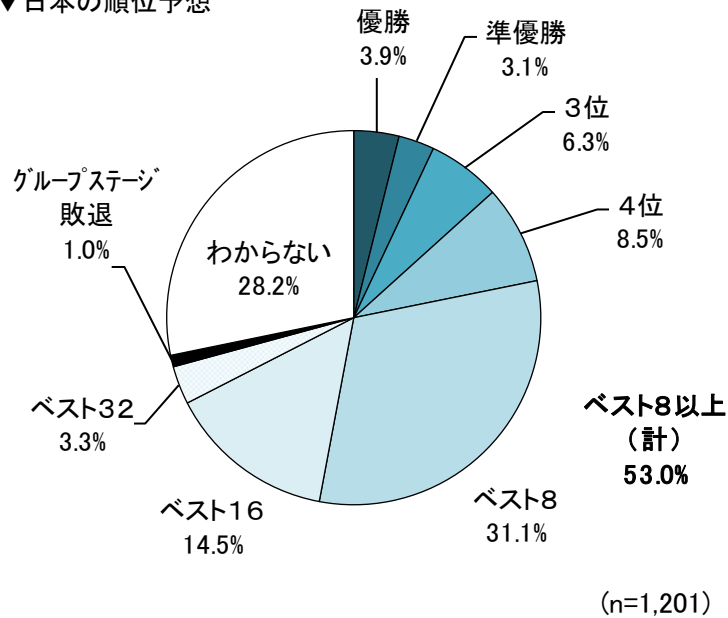
- * この質問で『テレビやネット配信で試合を見るつもりだ』と答えた人には、続けてあてはまる視聴方法を「テレビ放送で見る」「ネット配信（DAZNやNHK ONE）で見る」「その他」の中から複数回答であげてもらった。

▼ワールドカップ試合観戦

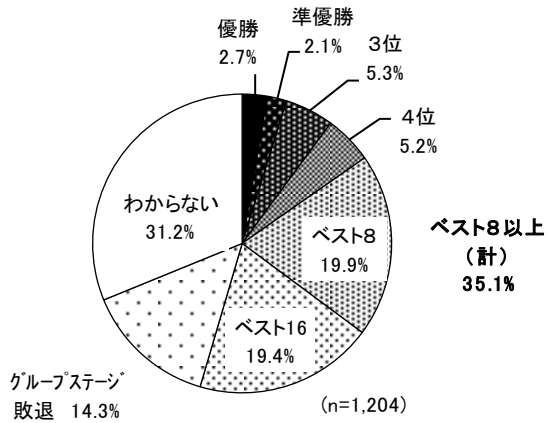


質問：（回答票）あなたは、日本はどのくらい活躍すると思いますか。出場48か国中の日本の順位を予想してください。

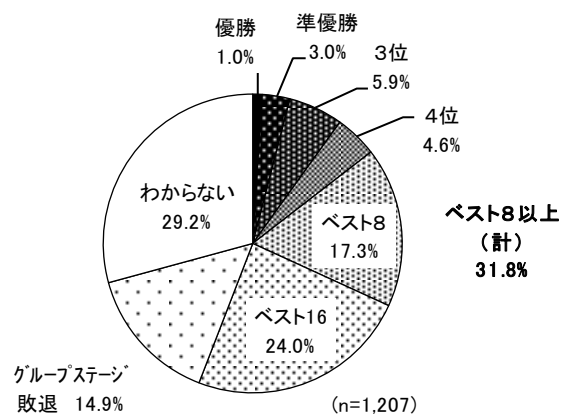
▼日本の順位予想



▼参考(2022年調査)



▼参考(2018年調査)



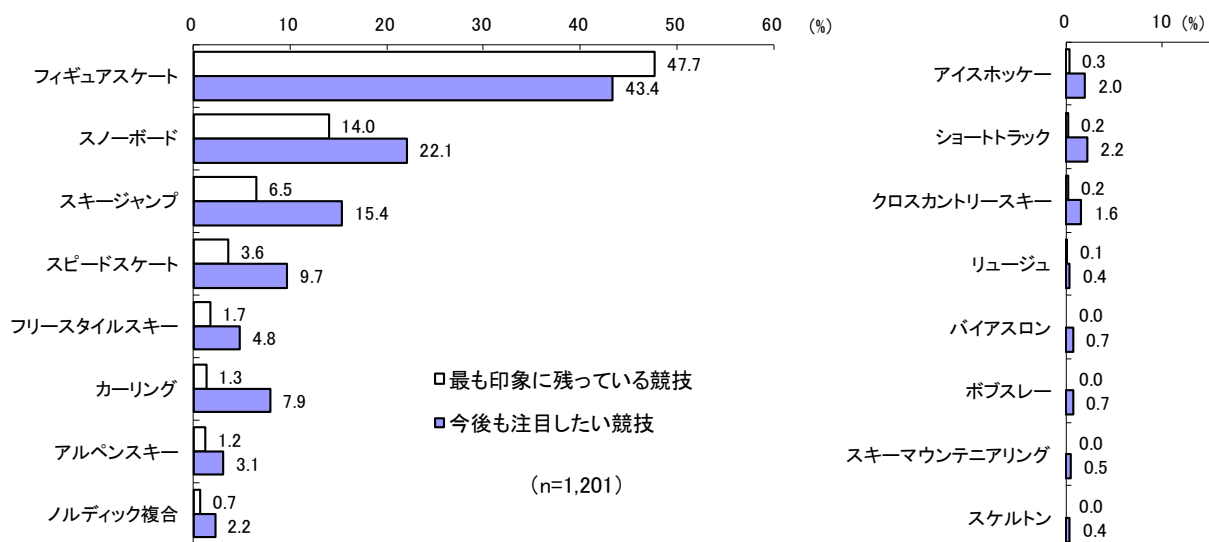
7. ミラノ・コルティナ冬季五輪

- ・最も印象に残っている競技は「フィギュアスケート」(47.7%)が、2位の「スノーボード」(14.0%)に大差をつけて1位。3位は「スキージャンプ」(6.5%)。
- ・今後も注目したい競技も「フィギュアスケート」(43.4%)が1位。2位「スノーボード」(22.1%)、3位「スキージャンプ」(15.4%)。
- ・男女別で比較しても、最も印象に残っている競技、今後も注目したい競技ともに、1位「フィギュアスケート」、2位「スノーボード」、3位「スキージャンプ」の順。

質問：(回答票)「今年の2月にイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで開かれた冬季オリンピックで、最も印象に残っている競技はどれですか。」

(回答票)では、ミラノ・コルティナオリンピックのあと、今後も注目したい競技はありましたか。(複数回答)

▼ミラノ・コルティナ冬季オリンピックで最も印象に残っている競技と今後も注目したい競技



▼最も印象に残っている競技(男女別・上位3位)

男性(n=556)			女性(n=645)		
1位	フィギュアスケート	32.6%	1位	フィギュアスケート	60.8%
2位	スノーボード	16.9%	2位	スノーボード	11.5%
3位	スキージャンプ	9.7%	3位	スキージャンプ	3.7%

▼今後も注目したい競技(男女別・上位3位)

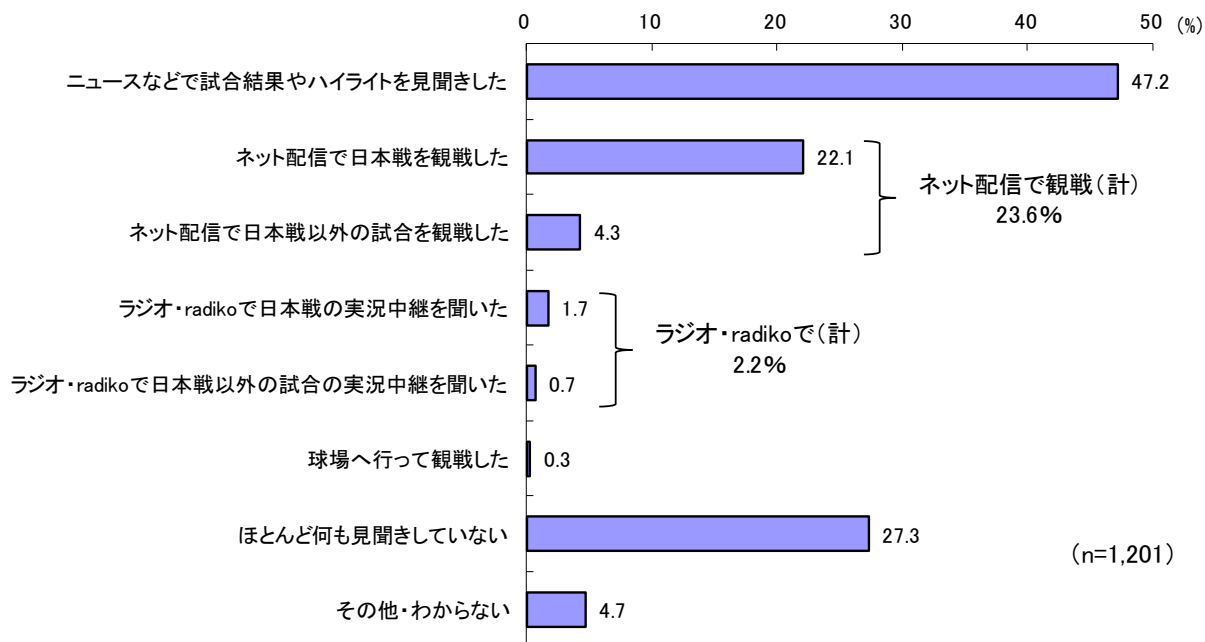
男性(n=556)			女性(n=645)		
1位	フィギュアスケート	28.1%	1位	フィギュアスケート	56.6%
2位	スノーボード	23.9%	2位	スノーボード	20.5%
3位	スキージャンプ	19.1%	3位	スキージャンプ	12.2%

8. WBCの観戦状況

- ・WBCの観戦は、「ニュースなどで試合結果やハイライトを見聞きした」が47.2%で最も高かった。『ネット配信（Netflix）で観戦した』は23.6%、『ラジオやradikoで実況中継を聞いた』が2.2%、「球場へ行って観戦した」は0.3%だった。
 - ・『ネット配信で観戦』の割合は、男性では年齢が低いほど高く、20代男性で41.8%。
 - ・「ほとんど何も見聞きしていない」は27.3%で、前回大会（2023年）の5.5%から大幅に増加した。
- * 前回大会では、『テレビやネット配信などで観戦した』が75.8%、「ニュースなどで試合結果やハイライトを見聞きした」は38.4%だった。

質問：（回答票）3月に野球のWBC・ワールドベースボールクラシックが行われました。あなたは、今年のWBCを視聴しましたか。（複数回答）

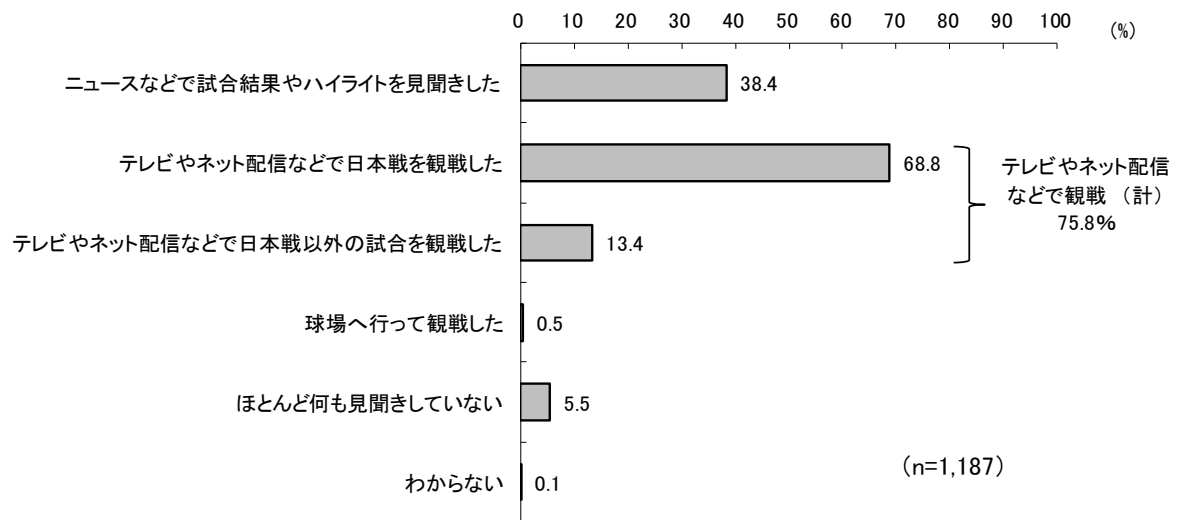
▼WBCの観戦状況



▼WBCの観戦状況(性・年代別)

		n	ニュースなどで試合結果やハイライトを見聞きした	ネット配信(計)	ラジオやradiko(計)	ほとんど何も見聞きしていない
総数		1201	47.2	23.6	2.2	27.3
男性	20代	55	25.5	41.8	-	30.9
	30代	64	48.4	34.4	1.6	20.3
	40代	88	46.6	31.8	-	22.7
	50代	89	50.6	30.3	1.1	22.5
	60代	92	57.6	27.2	2.2	14.1
	70歳以上	168	64.9	17.3	3.6	19.0
女性	20代	49	32.7	14.3	-	46.9
	30代	53	34.0	17.0	3.8	45.3
	40代	89	36.0	23.6	2.2	46.1
	50代	104	40.4	29.8	1.9	27.9
	60代	117	49.6	23.9	5.1	20.5
	70歳以上	233	46.4	14.6	1.7	30.9

▼参考(2023年調査:WBCの観戦状況)



(調査の設計・方法など)

- 調査地域 全 国
- 調査対象 20歳以上の男女個人
- 標本数 4,000
- 抽出方法 層化三段抽出法（住宅地図）
- 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 調査時期 2026年5月8日（金）～18日（月）
- 有効回収数 1,201

問い合わせ先

〒104-8179 東京都中央区銀座5丁目15-8
一般社団法人 中央調査社（会長 境 克彦）
TEL 03-3549-3121
FAX 03-3549-3126
ホームページアドレス <https://www.crs.or.jp>

担 当 調査部 山岸、絹川